

IT グランドプラン 2030

<プラン骨子>

- (1) AI 設計によるエンジニアリング能力の革新
プラント配置の最適設計や機器類の自動選定、革新的なプロセス機器の自動設計を目指します。そのため強化学習や Generative Design などの AI 技術を活用します。またシニア技術の形式知化を行い、単純なチェック作業等を自動化します。
- (2) プロジェクトデジタルツインの構築とシミュレーション（将来予測）
エンジニアリング会社は近い将来、プラントの実物を建設するのみならず、計算機内の複製（デジタルツイン）も納品するようになります。当社はさらに、プロジェクト自体のデジタルツインを構築し、将来予測と意思決定に活用します。
- (3) 3D プリンタや建設自動化による建設現場の劇的な改善
建設現場での自動機械・ロボットの活用、構造材用大型 3D プリンタの導入、さらに新素材開発により、設計から工事までのリードタイムを劇的に短縮します。
- (4) 標準化・モジュール化プラント実現による生産性の向上
従来の個別設計から脱却し、標準化とモジュール化を最大限活用することで、プラント設計・調達・製造の生産性を向上し、大幅な納期短縮を実現します。
- (5) スマートコミュニティ技術の展開
日揮グループ製造業の工場スマート化から始め、建設現場キャンプのスマート化を経て、内外のインフラプロジェクトにおけるスマート化技術へと展開します。

＜プラン全体像ロードマップ図＞

